

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

別添資料11

公表: 令和6年 2月 29日

事業所名 narelu九条 保護者等数(児童数) 37(34) 回収数 25枚 割合 73.5%

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	23	0	0	2		利用児童の学習している様子やフリースペースでの様子を撮影した写真をブログを通して見てもらい、教室の広さや雰囲気等を保護者に知ってもらう。また、そのブログの周知に力を入れる。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	24	0	0	1		指導員・児童指導員や有資格者、ドライバーの人員配置がある。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	22	0	0	3		教室の外に段差がある為、上り下りの際は細心の注意を払いながら、通行時には支援を行う。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	25	0	0	0		
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	24	0	0	1		活動内容は毎日異なるので、それが伝わるように連絡帳やFB時に保護者に伝達する。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	18	0	1	6		地域との交流も今後検討課題としていく。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25	0	0	0		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	25	0	0	0		
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	25	0	0	0		
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	17	1	0	7		今後、保護者にも参加できるような親子イベントや、進級前の相談会などを検討課題としていく。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	21	0	0	4		相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めている。苦情受付・解決担当者は重要事項説明書に記載し、契約時に説明している。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23	0	0	2		連絡帳やFB時、緊急の際は電話など各種対応している。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	24	1	0	1		弊社HPIにて自己評価の結果、併設のブログにて活動の様子や情報、配布物でイベントの予告や連絡事項を随時発信している。
14	個人情報に十分注意しているか	24	0	0	1		個人情報記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管している。	
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	21	1	0	4		今後マニュアルの周知を進めていく。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18	0	0	7		動画での視聴・イベントでの自助意識の向上には力を入れているが、避難訓練は火事・地震・洪水など細分化して行っていく。
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	23	2	0	0		
	18	事業所の支援に満足しているか	25	0	0	0		

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。